



みこしとぎょ 1 神輿渡御



2 神事

柿野祭り

二柱の神様が会おうとき、
受け継がれてきた歴史と出会う

柿野祭りは、乾地区にある垣野神社と清瀬神社の例大祭で、二つの神社から出発した神輿が中間に位置する「お旅所」に集まり、神事を行います。

垣野神社には景行天皇の子の小碓命（日本武尊）が、清瀬神社にはその兄の大碓命が祀られています。

両社に祀られる兄弟神には、皇位継承を巡る対立を避けて柿野に隠れた大碓命と、兄を探しあてた小碓命の再会の物語が地元に残されています。

二つの神社の神様が「お旅所」で会おうという珍しい形は、鎌倉時代から数百年の間、伝え続けられてきたと考えられています。

雅楽を奉納する楽員や獅子舞の舞手、からくり舞などは多くの場合、親から子へ伝承されています。準備なども地域の多くの人が参加し、この祭りを守っています。

二つの神社の神様が会おうとき、それはたくさんの方が大切に受け継いできた、地域の長い歴史との出会いでもあります。



3 祭礼行列

4 獅子舞



5 からくり芸

1. 神輿渡御 垣野神社と清瀬神社からそれぞれ神輿が出発し、「お旅所」の前で出会う。

2. 神事 「お旅所」の奥に神輿を並べて置き、神事を行う。神事で奏でる雅楽は楽員が担当し、神事の後は巫女舞が奉納される。

3. 祭礼行列 乱獅子の舞と祭礼行列。乱獅子は、「日本書紀」で、道に迷った小碓命を美濃に導いた白い犬を現したものである。

4. 獅子舞 「お旅所」の前で奉納される獅子舞(市重要無形文化財)

5. からくり芸 市内で唯一伝えられている曳き山車^{やまぐるま}で、3つの人形により生き生きとしたからくり芸が演じられる。

(市重要有形文化財)

6. 花撒き からくり人形の周囲に飾られていた花を見物の人にもまく。まかれた花は、家内繁栄のお守りとして床の間に飾る。

7. 舞い別れ 両社の神輿が「お旅所」で3回旋回し、別れて帰途に付く。兄弟神が別れを惜しむ様子を表している。

8. 餅撒き 祭りの最後に、氏子総代などにより餅がまかれる。

6 花撒き



8 餅撒き



7 舞い別れ

